

授業コード	14001	授業題目	学校教育論			単位数	2
授業種別	講義	履修開始年次	1	開講時期	1学期	曜日・時限	火1
担当教員名	神山正弘			担当教員所属	学校教育専修		
担当教員電話	内			担当教員 E-Mail			
授業テーマと目的	現代学校の課題を実践的、理論的に解明することを目的とする。						
授業計画	子どもと社会。学校教育の制度とその経営。教育課程の編成。教育システムの改革。これらを内外の動向を紹介しながら解説する。						
達成目標(達成水準)							
授業時間外の学習							
教科書・参考書							
成績評価の基準と方法							

授業コード	14002	授業題目	学校経営論			単位数	2
授業種別	講義	履修開始年次	1	開講時期	1学期	曜日・時限	火2
担当教員名	平井貴美代			担当教員所属	学校教育専修		
担当教員電話	844-8463			担当教員E-Mail			
授業テーマと目的	学校の経営過程や組織的特性に関する基本的事項について学習するとともに、開かれた学校づくりや学級崩壊など、最近とくに話題となっている問題についてアプローチするための視点や方法を検討する。						
授業計画	テキストの各章を分担して講読し、それに関わる実践上の課題を出し合う 1 オリエンテーション 2 プレゼンテーション用レポート作成のための演習 3～14 テキストの講読 15 学校経営論の授業をふりかえって(まとめ)						
達成目標(達成水準)	1 学校の経営過程や組織的特性に関する基本的事項を理解することができる 2 学校教育の諸側面について経営的・組織的観点から分析することの意義を知ることができる						
授業時間外の学習	テキストの分担箇所についてレポートを作成し、発表の準備をする 授業で扱うテキストを予め読んでおき、疑問点などを整理しておく						
教科書・参考書	小島弘道編著『学校教育の基礎知識[改訂版]』(協同出版、2002年)						
成績評価の基準と方法	成績評価は、授業中に行う発表内容や授業への参加状況から総合的に判断します						

授業コード	14004	授業題目	学習指導論			単位数	2
授業種別	講義	履修開始年次	1	開講時期	2 学期	曜日・時限	金 1
担当教員名	馬場園陽一			担当教員所属	学校教育専修		
担当教員電話	088-844-8438			担当教員 E-Mail	babazono@cc.kochi-u.ac.jp		
授業テーマと目的	<p>学習指導に関する教育心理学の理論的研究を紹介し、学習指導への実践的アプローチを試みる。 本年度は指導と評価の一体化を図るための教育評価の方法について探る。</p>						
授業計画	<p>①教育評価に関する理論的見解や教育実践に役立つ新しい教育評価の方法について紹介する。 ②受講生が自ら教育評価や学習指導に関する研究テーマを設定し、発表し、討論を行う。</p>						
達成目標(達成水準)	<p>自ら学ぶ意欲や確かな学力の育成において、指導と評価の一体化を図る授業づくりがいかに大切であるかを認識するとともに、その評価の方法についての技能を身につけることができるようになる。</p>						
授業時間外の学習	<p>自分の設定したテーマにしたがって調べ学習が求められるので、授業時間外の学習の時間がかかり必要である。</p>						
教科書・参考書	<p>特に指定していない。</p>						
成績評価の基準と方法	<p>出席回数とレポート作成、発表を総合して評価する。</p>						

授業コード	14005	授業題目	教育相談論			単位数	2
授業種別	講義	履修開始年次	1	開講時期	2学期	曜日・時限	集中
担当教員名	丹羽洋子			担当教員所属	学校教育専修		
担当教員電話				担当教員 E-Mail			
授業テーマと目的	教育相談の心理学的基礎となる学校カウンセリング心理学の立場から、問題にアプローチする。						
授業計画	ロジャースの教育の3大原則にもとづいた問題ごとの子ども理解の仕方やそれに対する学校現場で使えるカウンセリングテクニックについて論じる。						
達成目標(達成水準)	子どもの心身の健康をより促進するかかわり方や、学校適応への回復を支援する実践的な力を獲得する。						
授業時間外の学習							
教科書・参考書							
成績評価の基準と方法							

授業コード	14006	授業題目	情報演習 I			単位数	2
授業種別	演習	履修開始年次	1	開講時期	集中	曜日・時限	
担当教員名	裏垣 博			担当教員所属	技術教育専修		
担当教員電話	8408			担当教員 E-Mail	uragaki@kochi-u.ac.jp		
授業テーマと目的	高度情報化社会に積極的に対応できる情報処理の基礎能力を身に付けた教員の養成を目的とする。						
授業計画	コンピュータとソフトウェアの基本操作ならびにネットワークの利用方法に関する演習を行う。Windowsの基礎、電子メール、文書処理及び表計算などよく利用される機能の学習に重点を置く。						
達成目標(達成水準)	授業計画に掲げた内容について、習熟する。						
授業時間外の学習	コンピュータを有効に活用するために、課外時間や自宅での学習を積極的に行う必要がある。						
教科書・参考書	授業時に紹介する。必要に応じてプリントを配布する。						
成績評価の基準と方法	出席状況を含む平常点とレポートを考慮して総合的に評価する。						

授業コード	14007	授業題目	情報演習Ⅱ			単位数	2
授業種別	演習	履修開始年次	1	開講時期	2学期	曜日・時限	金2
担当教員名	普喜 満生			担当教員所属	理科教育専修		
担当教員電話	8420			担当教員 E-Mail	fuki@s.kochi-u.ac.jp		
授業テーマと目的	コンピュータの活用能力、情報処理に関する総合力を身につけることを目的として、講義と演習を行う。						
授業計画	ネットワークの設定およびその基礎知識の習得、メールやWebの利用、ホームページの作成、各種ソフトウェアの活用などである。						
達成目標(達成水準)	ある程度習熟した人を対象に、技能の修得に加え情報化社会の課題や情報リテラシ教育についても一緒に考える。						
授業時間外の学習	自前のノートパソコンを携行し、インターネットなども利用するとよい。						
教科書・参考書	特にないが、資料・プリント等を配布する。下記URLも参照のこと。 http://home.s.kochi-u.ac.jp/~fuki/H18/joho-in2.html						
成績評価の基準と方法	授業態度とレポートで評価する。						

授業コード	14303	授業題目	国語科教育特論Ⅱ			単位数	2
授業種別	講義	履修開始年次	1	開講時期	1 学期	曜日・時限	金3
担当教員名	北 吉 郎			担当教員所属	国語教育専修		
担当教員電話	844-8382			担当教員 E-Mail			
授業テーマと目的	国語科教育の理論、教科書教材の研究、および指導法の研究						
授業計画	上記テーマが本来の授業内容の基本としてあるが、院生の中には現職教員が含まれることもあり、よって、それぞれの修士論文のテーマに即した内容の授業が計画される。						
達成目標(達成水準)	上記の授業テーマを理解するとともに、各自の修士論文のテーマに即した研究内容がどんなものであるかを、把握する。						
授業時間外の学習	各自の修士論文のテーマに即した研究内容の文献を収集し、読み進める。						
教科書・参考書	適時、紹介する。						
成績評価の基準と方法	授業テーマを理解できたか、および各自の修士論文のテーマに即した研究内容を把握できたか。						

授業コード	14304	授業題目	国語科教育特論演習Ⅱ			単位数	2
授業種別	演習	履修開始年次	1	開講時期	2 学期	曜日・時限	金 3
担当教員名	北 吉 郎			担当教員所属	国語教育専修		
担当教員電話	844-8382			担当教員 E-Mail			
授業テーマと目的	各自の修士論文のテーマに即した研究を深める。						
授業計画	各自の修士論文のテーマに即した研究文献を読み深めて、それをまとめたものを発表する。						
達成目標(達成水準)	各自の修士論文のテーマに即して文献を読み深め、まとめ、発表する。						
授業時間外の学習	各自の修士論文のテーマに即した研究文献を収集し、読み深め、まとめる。						
教科書・参考書	適時、紹介する。						
成績評価の基準と方法	各自の修士論文のテーマに即して文献を読み深め、まとめ、発表できたか。						

授業コード	14311	授業題目	国語学特論			単位数	2
授業種別	講義	履修開始年次	1	開講時期	1学期	曜日・時限	木4
担当教員名	久野真			担当教員所属	国語教育専修		
担当教員電話	8381			担当教員 E-Mail	mkuno@cc.kochi-u.ac.jp		
授業テーマと目的	音声・音韻論の基礎を確認し、研究の出発点とする。						
授業計画	おおむね、音声学、アクセント論、音韻論について講ずる。学部での履修状況に応じて適切な講義を行う。						
達成目標(達成水準)	義務教育に必要な、基礎的な日本語の構造を身につける。日本語研究の各領域についてどのような研究が行われているかを知る。						
授業時間外の学習	日本語学の概説書を入手し、比較検討する。						
教科書・参考書	適宜紹介する。						
成績評価の基準と方法	レポートによる。						

授業コード	14312	授業題目	国語学特論演習			単位数	2
授業種別		履修開始年次	1	開講時期	2学期	曜日・時限	木3
担当教員名	久野真			担当教員所属	国語教育専修		
担当教員電話	8381			担当教員 E-Mail	mkuno@cc.kochi-u.ac.jp		
授業テーマと目的	文法論、意味論の基礎を確認し、研究の出発点とする。						
授業計画	活用、動詞・形容詞の分類、文法カテゴリーを確認する。語彙論、意味分析の方法を確認する。						
達成目標(達成水準)	文法指導、語彙指導に必要な方法論を身につける。						
授業時間外の学習	文法あるいは意味の資料を収集し、分析する。						
教科書・参考書	適宜紹介する。						
成績評価の基準と方法	レポートによる。						

授業コード	14323	授業題目	国文学特論Ⅱ			単位数	2
授業種別	講義	履修開始年次	1	開講時期	1 学期	曜日・時限	火 3
担当教員名	井出幸男			担当教員所属	国語教育専修		
担当教員電話				担当教員 E-Mail			
授業テーマと目的	上代から近世に至るまでの日本歌謡史の展開を、庶民歌謡の系譜という視点でとらえて考察し、併せて民俗・芸能などの背景についても論究する。						
授業計画	<ol style="list-style-type: none"> 1、古代歌謡(古事記・日本書紀・風土記・続日本紀・琴歌譜) 2、万葉集 3、神楽歌・催馬楽・風俗歌・東遊歌 4、今様(梁塵秘抄) 5、室町小歌(閑吟集・宗安小歌集・隆達節歌謡・風流踊り歌) 6、田植歌(田植草紙・巷謡編) 7、近世三味線歌謡 8、労作歌 9、盆踊歌 10、神事・祭礼歌謡 						
達成目標(達成水準)	日本歌謡史の概略について、「庶民」「地域」という視点から理解を深める。						
授業時間外の学習	民俗・芸能などの背景について、それぞれの地域の事例により具体的な関わりを探究する。 レポートを作成する。						
教科書・参考書	資料は配布する。						
成績評価の基準と方法	受講状況とレポートの評価を基に総合的に判定する。						

授業コード	14324	授業題目	国文学特論演習Ⅱ			単位数	2
授業種別	演習	履修開始年次	1	開講時期	2 学期	曜日・時限	火 3
担当教員名	井出幸男			担当教員所属	国語教育専修		
担当教員電話				担当教員 E-Mail			
授業テーマと目的	中・近世歌謡の代表的存在である室町小歌関連の諸作品(閑吟集・宗安小歌集・隆達節歌謡・風流踊り歌・巷謡編など)について、注釈的視点を基盤として考究する。						
授業計画	1、閑吟集 2、宗安小歌集 3、隆達節歌謡 4、風流踊り歌 5、巷謡編						
達成目標(達成水準)	文献学的研究方法及び民俗学的研究方法の実際を学び、理解を深める。						
授業時間外の学習	研究資料により演習資料を作成する。						
教科書・参考書	テキストは配布する。参考資料はその都度指示する。						
成績評価の基準と方法	演習の状況を総合的に判定する。						

授業コード	14331	授業題目	漢文学特論			単位数	2
授業種別	講義	履修開始年次	1	開講時期	1 学期	曜日・時限	火 5
担当教員名	玉木尚之			担当教員所属	国語教育専修		
担当教員電話	844-8385			担当教員 E-Mail	ntamaki@cc.kochi-u.ac.jp		
授業テーマと目的	漢字の歴史を概観し、字源・字意・字形・字音などについて漢字のはらむ問題と、漢語語彙の持つ問題をさまざまに検討する。						
授業計画	<ul style="list-style-type: none"> ・漢字教育の問題点 ・漢字に関わる制度の持つ問題点 ・漢字の歴史 ・漢字の歴史・制度をふまえた漢字教育の問題の検討 ・漢語語彙の問題 						
達成目標(達成水準)	漢字の歴史について理解する。制度としての漢字のはらむ問題について歴史をふまえて理解する。漢語語彙の持つ問題を理解する。						
授業時間外の学習	講義内容の復習。出された課題への対応。						
教科書・参考書	授業中に提示する。						
成績評価の基準と方法	授業内容をふまえて、そのまとめと問題点についての考察を行うレポートを課す。漢字の歴史・問題点、漢語語彙の問題点のまとめが適切にできていること(6割)、問題点についての調査・考察ができていること(2割)、講義中の課題への対応(2割)で評価する。						

授業コード	14332	授業題目	漢文学特論演習			単位数	2
授業種別	演習	履修開始年次	1	開講時期	2 学期	曜日・時限	火 5
担当教員名	玉木尚之			担当教員所属	国語教育専修		
担当教員電話	844-8385			担当教員 E-Mail	ntamaki@cc.kochi-u.ac.jp		
授業テーマと目的	漢字の字源・字義・字形・字音や、漢語の語彙などについて、個々の漢字や漢語を順次取り上げ、調査検討する形での演習を行う。						
授業計画	<ul style="list-style-type: none"> ・漢字・漢語の問題点の確認 ・漢字・漢語の問題点について発表し、検討する。 						
達成目標(達成水準)	漢字・漢語の問題点を自ら調査し、資料としてまとめて発表し、それについて、歴史や制度をふまえての考察を行うことができる。他の受講生の発表について、理解し、適切な検討が行える。演習を通じて検討した漢字・漢語の問題点のまとめを行える。						
授業時間外の学習	漢字・漢語の問題点を調査し、発表レポートを作成する。講義内容の復習。						
教科書・参考書	授業中に提示する。						
成績評価の基準と方法	毎時の発表(5割)。他の受講生の発表・討議への参加(2割)。演習を通じて検討した漢字・漢語の問題点のまとめレポート(3割)。制度や歴史をふまえた考察ができること。						

授業コード	14341	授業題目	書道特論			単位数	2
授業種別	講義	履修開始年次	1	開講時期	1 学期	曜日・時限	金 5
担当教員名	北川修久			担当教員所属	国語教育専修		
担当教員電話				担当教員 E-Mail			
授業テーマと目的	書写書道教育の学習法及び研究方法を習得するため、古典の臨書を行い、表現の理法と技術を学ぶ。同時に臨書と創作の関係が密接不離かどうかも考察したい。						
授業計画	1、書写書道教育のあり方 2、古典(書体・書風)の歴史のあり方 3、臨書(執筆論・用筆論)のあり方 4、文房四寶(用具・用材)のあり方 5、書道資料(原拓・肉筆・採拓)のあり方						
達成目標(達成水準)	書写書道教育の基本である、書の古典美の世界を広げ表現の理解を深める。						
授業時間外の学習	書写書道教育はどう行なわれて来たのか、現在の書写書道教育はどのような形で行なわれているのか考える。						
教科書・参考書	その都度配布する。						
成績評価の基準と方法	受講状況と提出物を基に総合的に判断する。						

授業コード	14342	授業題目	書道特論演習			単位数	2
授業種別	演習	履修開始年次	1	開講時期	2 学期	曜日・時限	金 5
担当教員名	北川修久			担当教員所属	国語教育専修		
担当教員電話				担当教員 E-Mail			
授業テーマと目的	書の古典はそれぞれ時代背景やその時代の生活感情と密接な関係がある。鑑賞や技法分析によってその変遷を明らかにし、現代の書について考えていく。						
授業計画	<ul style="list-style-type: none"> 1、 現代性について 2、 造形について 3、 表現について 4、 書線について 5、 美意識について 						
達成目標(達成水準)	毛筆による線(文字)表現の基本を学び、造形とは何かを考える。						
授業時間外の学習	書写教育の現状を捉える。現代の表現方法について考える。						
教科書・参考書	その都度配布する。						
成績評価の基準と方法	演習の状況を総合的に判定する。						

授業コード		授業題目	国語科教育実践研究1		単位数	2	
授業種別	演習	履修開始年次	1	開講時期	2学期	曜日・時限	金4
担当教員名	北 吉 郎		担当教員所属	国語教育専修			
担当教員電話	844-8382		担当教員 E-Mail				
授業テーマと目的	各自の修士論文のテーマに即して、実践研究を深める。						
授業計画	附属小・中学校を中心にして、修士論文のテーマに即した実践研究を行う。						
達成目標(達成水準)	修士論文のテーマに即した実践研究を行い、「研究論集」にまとめる。						
授業時間外の学習	各自の研究計画に即して、文献を読み深め、附属小・中学校を中心にした実践研究を行う。						
教科書・参考書	適時、紹介する。						
成績評価の基準と方法	修士論文のテーマに即した実践研究を意欲的に行い、「研究論集」にまとめることができたか。						

授業コード		授業題目	国語科教育実践研究Ⅱ			単位数	2
授業種別	演習	履修開始年次	2	開講時期	1 学期	曜日・時限	月 2
担当教員名	玉木尚之			担当教員所属	国語教育専修		
担当教員電話	844-8385			担当教員 E-Mail	ntamaki@cc.kochi-u.ac.jp		
授業テーマと目的	我が国における国語科教育実践史の研究を踏まえ、附属校園等における授業の記録・観察及び授業資料の研究などを通じて、国語科領域の教材開発について、理論的に研究することを指導する。						
授業計画	<ul style="list-style-type: none"> ・課題の検討と課題考察のための方法の検討 ・附属校園等との打ち合わせ、授業実態の理解 ・課題に関わる資料の収集と考察 ・課題解決のための仮説提示、教材開発 ・附属校園等における意見聴取等 ・仮説や開発教材の修正 						
達成目標(達成水準)	附属校園等の授業実態、制度や必要事項についての知識をふまえて、教材開発に関わる知識の構築ができる。						
授業時間外の学習	授業のための資料の作成に関わる調査・考察・まとめ等。						
教科書・参考書	授業中に提示する。						
成績評価の基準と方法	課題に取り組む継続的活動(6割)、まとめレポート(4割)で評価する。附属校園等の授業実態をふまえた課題設定・考察ができていないこと。課題解決の適切な方法をふまえて教材開発あるいは開発のための必要事項の検討ができていないこと。						

授業コード		授業題目	国語科教育実践研究 I (長期インターンシ ブ)			単位数	2
授業種別		履修開始年次	1	開講時期	1 学期	曜日・時限	
担当教員名	北, 久野, 井出, 玉木, 北川			担当教員所属	国語教育専修		
担当教員電話				担当教員 E-Mail			
授業テーマと目的	附属校園等において専修指導教員及び実習校指導担当者のもと実践的な課題研究テーマの基盤を形成する。						
授業計画	教材開発、学級経営、児童生徒の観察、子供とのふれあいにもとづく単元計画作成、または LD、ADHD、不登校、乳幼児等子供の観察にもとづく実習計画作成を行う。						
達成目標(達成水準)	附属校園等において、各人が設定したテーマについて単元計画または実習計画を作成し、実践的な研究の基盤を形成することが出来る。						
授業時間外の学習	単元計画または実習計画の作成等。						
教科書・参考書	随時指示する。						
成績評価の基準と方法	単元計画または実習計画の内容、計画作成への取り組みなどをふまえ、実習校指導担当者と協議の上総合的に判断する。						

授業コード		授業題目	国語科教育実践研究Ⅱ(長期インターンシ ブ)			単位数	2
授業種別		履修開始年次	1	開講時期	2学期	曜日・時限	
担当教員名	北, 久野, 井出, 玉木, 北川			担当教員所属	国語教育専修		
担当教員電話				担当教員 E-Mail			
授業テーマと目的	附属校園等において専修指導教員及び実習校指導担当者のもと、高度な専門知識・能力に裏付けられた実践的指導力を育成する。						
授業計画	単元計画の実施、研究会への参加、公開研究授業、または事例研究会への参加、ケース参加の実施を行い、結果を関連分野の研究方法にもとづき省察する。						
達成目標(達成水準)	各人が設定したテーマについて単元計画あるいは実習計画にもとづいて公開研究授業または事例研究等を実施し、結果を関連分野の研究方法にもとづいて省察することができる。						
授業時間外の学習	公開研究授業または事例研究等の準備。						
教科書・参考書	随時指示する。						
成績評価の基準と方法	単元計画または実習計画の実施、公開研究授業、事例研究会等への取り組み、報告書などをふまえて、実習校指導担当者との協議の上総合的に判断する。						

授業コード		授業題目	課題研究		単位数	4
授業種別		履修開始年次	2	開講時期	通年	曜日・時限
担当教員名	久野, 井出, 北川			担当教員所属	国語教育専修	
担当教員電話				担当教員 E-Mail		
授業テーマと目的	修士論文の作成に向け指導、研究を行なう。					
授業計画	各自の研究課題を設定して、その研究計画に従って高度な専門的知識の育成をはかるとともに、院生自らが主体的に研究する能力を開発し、研究内容の集大成を目指すよう指導する。					
達成目標(達成水準)	十分な研究計画及び内容が作成できる。					
授業時間外の学習	各自の研究課題に対し、院生自らが主体的に取り組み、十分な研究資料を収集する。					
教科書・参考書	各自の研究課題に応じて指示する。					
成績評価の基準と方法	各自の研究課題に対する研究計画に従って、院生自らが主体的に研究し、研究内容の集大成ができたかを、研究態度、修士論文及びその発表を見て、総合的に判断する。					